

第 8 回 阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

開催日時：2026 年 3 月 3 日（火） 14 時～16 時

開催場所：阿佐谷地域センター 2階 集会室 2

議事次第

1. 開会

2. 出席者紹介

3. 挨拶

4. 報告事項

(1) 前回議事録

(配布資料 2)

(2) 「杉並第一小学校移転改築への要望書」について

○要望書の確認

○杉並区教育委員会学校整備課からの回答

(配布資料 3)

(参考資料 1)

(3) 雨水対策について

(4) その他

あさがやまちづくりセッション・すぎなみボイス意見概要

(参考資料 2)

5. 協議事項

(1) 未来ビジョンについて

(配布資料 4)

(2) その他

○次回日程の確認

6. 閉会・挨拶

以上

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 第6回	
日 時	2026年(令和8年)1月27日(火)15時~16時30分
場 所	阿佐谷地域区民センター 2階 第1集会室
出席者 (会員の 所属)	阿佐谷新進会商店街振興組合、阿佐谷北一丁目町会、株式会社ジェイアール東日本都市開発、 樺興産株式会社、社会医療法人河北医療財団、宗教法人世尊院、(専門家)株式会社双葉、株 式会社計画工房、杉並区 事務局：杉並区都市整備部市街地整備課拠点整備担当(委託先：株式会社計画工房)
議 題	次第 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 挨拶 4. 報告事項 (1) 前回議事録 (2) あさがやまちづくりセッションの報告 (3) すぎなみボイスの報告 5. 協議事項 (1) 未来ビジョン素案について (2) 今後の進め方について (3) その他 6. 閉会・挨拶
配布資料	次第、第5回議事要録、あさがやまちづくりセッションの報告、すぎなみボイスの報告、 取組の柱に関する意見の報告、未来ビジョン素案、今後の進め方(案)、まちづくり通信
報告事項	(1) 議事録 ・前回の議事録を確認した。 ・今回議事録の署名人を2名選んだ。 (2) あさがやまちづくりセッションの報告 ・事務局より、区が開催した第8回(杉一小跡地活用のアイデア)と第9回(未来ビ ジョン取組アイデア)について報告した。 (3) すぎなみボイスの報告 ・事務局より、11~12月に実施したすぎなみボイス(未来ビジョン取組アイデア)に ついて報告した。
協議事項	(1) 未来ビジョン素案について 事務局(計画工房)より、配布資料をもとに、取組の柱に関する意見を報告するとと もに、未来ビジョン素案(冊子)について説明した。 【主な意見】 ○柱1 ・取組の方向性①の取組案について、「東京都災害拠点連携病院」へ修正したい。 ○柱2 ・取組の方向性②の取組案について、「車の速度は徐行とする」へ修正したい。 ・商店街における歩行者の安全確保対策として、商店街のスピーカーの活用が有効 である。 ・商店街東端の五差路に自転車侵入防止用のバーを設置したことで、自転車の侵入 が大幅に減少するなど、高い効果が見られている。 ○柱3 ・緑地と区画道路2号の郵便ポスト周辺が夜間暗いが、今後の整備で改善の余地が あるのかな、と思われる。 ・街路灯のデザイン(色や形状など)については、当エリアに適したものにしたい と区の所管と共有しているので、今後協議会で検討してほしい。

○柱 4

- ・みどりの維持管理は所有者が行うことが原則であり、今後明確なルールの検討が必要である。・杉一小学校の桜の木については寿命があり、移植は難しいと思われるが、苗木を植樹するなど、残し方や活用方法を考えたい。
- ・車道のアスファルトには浸透性材料を使用することが望ましく、強度に課題がある場合は、通り抜け交通量を抑制するなどの対策を講じるのはどうか。

○柱 5

- ・現在のゴミ置き場は土地区画整理事業の進展でどうなるのか。また、ゴミ出しのマナーがよくないため、「ゴミ出しのルールと置場の検討」を追記したい。
- ・掲載する写真は、杉並区内の場所にする方がよい。
- ・ベンチを設置する場合は、区の補助を活用してもらいたい。
- ・ベンチの形状は、酔った人などが寝込むことのないよう、長椅子ではなく一脚ずつ設置したほうがよい。
- ・取組の方向性②の取組案に区画道路について記載があるので、区画道路の位置が分かるようにしたい。

○柱 6

- ・取組の方向性①では、杉並第一小学校跡地は「地域活動の拠点」と記載されているが、実際にどのような土地利用が想定されているのか。
→（区回答）跡地利用の計画は未定であり、将来像の表現は誤解を招かないものとする。

○阿佐谷北東まちづくり

- ・対象エリアの図に、区画道路の位置が分かるように明記する。
- ・エリア図は、阿佐谷全体を踏まえて作成する。

○ロードマップ

- ・Aの部分に、「提案 1」「提案 2」「提案 3」という表記を追記する。

○そのほか意見

- ・中杉通りの五日市街道までの延伸は、当エリアのみならず阿佐谷全体の発展に資するものであると考えている。

(2) 今年度の進め方について

- ・事務局より、配布資料をもとに、未来ビジョン完成に向けた3月までのスケジュールについて説明した。
- ・未来ビジョン冊子の印刷は4月以降に実施する。周知方法については、協議会と相談しながら検討を進める。
- ・2月10日に第7回協議会を開催し、所管課から「杉並区杉並第一小学校移転改築への要望」についての説明を受ける。会場は樺興産事務所とする。
- ・第8回協議会は、3月24日か3月25日で調整する。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2026年（令和8年）1月27日

議 長

議事録署名人

議事録署名人

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会 第7回	
日 時	2026年（令和8年）2月10日（火）15時30分～17時15分
場 所	樺興産事務所
出席者 （会員の 所属）	阿佐谷新進会商店街振興組合、阿佐谷北一丁目町会、株式会社ジェイアール東日本都市開発、 樺興産株式会社、社会医療法人河北医療財団、宗教法人神明宮、宗教法人世尊院、（専門家） 株式会社双葉、株式会社計画工房、杉並区 事務局：杉並区都市整備部市街地整備課拠点整備担当（委託先：株式会社計画工房）
議 題	次第 1. 開会 2. 出席者紹介 3. 挨拶 4. 報告事項 (1) 前回議事録 (2) あさがやまちづくりセッション（第10回）の報告 (3) 「杉並第一小学校移転改築への要望書」について ○要望書の確認 ○杉並区教育委員会学校整備課からの回答 (4) 雨水対策について 5. 協議事項 (1) 未来ビジョンについて (2) その他 ○次回日程の確認 6. 閉会・挨拶
配布資料	次第、第6回議事要録、杉並第一小学校移転改築への要望書、未来ビジョン(素案)冊子
報告事項	報告事項に入る前に、1月29日の火災で被害を受けた会員の方へお見舞いを申し上げる。 (1) 議事録 ・事務局から、前回の議事録を確認した。 ・中杉通りの延伸に関する意見を追記することを確認する。 ・今回議事録の署名人を2名選んだ。 (2) あさがやまちづくりセッション（第10回）の報告 ・事務局より、配布資料をもとに、2月1日および2月2日に開催した第10回あさがや まちづくりセッションについて報告した。 (3) 「杉並第一小学校移転改築への要望書」および雨水対策について ・所管課による報告を予定していたが、担当者がインフルエンザのため欠席したことか ら、次回に延期することとなった。
協議事項	(1) 未来ビジョンについて ・事務局（計画工房）より、配布資料をもとに、第6回で説明した未来ビジョンからの 修正点等について説明する。 【主な意見】 ○表紙 ・英語表示のタイトルを修正してはどうか。 ・イラストを一部修正してはどうか。 ○将来像 ・下部の注釈をより強調して示したい。 ・杉一小跡地の利用は、このエリアのまちづくりにおいて重要である。 ○柱1～柱6の「取組（案）」 ・重要な語句は強調して表記したい。

○柱 1～柱 6 写真

- ・各写真に説明を付してはどうか。
- ・柱 4 の写真を調整してはどうか。
- ・柱 5 の写真を変更してはどうか。
- ・柱 6 の写真を変更してはどうか。

○ロードマップ

- ・色合いについて確認する。

○ウラ表紙

- ・白紙の部分について、将来のイメージ（X年後のイラスト等）を掲載してはどうか。
- ・メモとして活用できるものにするのはどうか。

→（事務局からの回答）未来ビジョンに関する具体的な修正内容については、デザイナー等と調整のうえ検討する。

(2) その他

○所管課からの回答の日程

- ・3月2日または3月3日で調整する。

○3月の協議会日程

- ・3月25日(水)15時30分、樺興産事務所にて開催する。

○その他意見

- ・中杉通りは、五日市街道までの延伸を早く実現してほしい。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2026年（令和8年）2月10日

議 長

議事録署名人

議事録署名人



7 杉教第 10849 号
令和 8 年 2 月 18 日

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会御中

杉並区教育委員会
教育長 渋谷正宏

日頃から杉並区の教育行政に御理解、御協力をいただきありがとうございます。令和 6 年 6 月 18 日付けで貴協議会の準備組織であった阿佐ヶ谷駅北東地区エリアマネジメント推進懇談会からいただきました要望書につきまして、現在設計の途中ではありますが、下記のとおり検討を進めておりますので回答いたします。

なお、今後予定される杉並区景観条例等各種手続き・届出において変更となる可能性もございますので、ご理解いただきたく存じます。

記

ご要望		検討内容
1. 「災害に強い安全・安心なまち」の実現に向けて		
① 「防災活動拠点」としての配慮	堅固な不燃化の構造とし、免震構造も含めた耐震性の確保をしてほしい。	構造は鉄筋コンクリート造とし、構造計算上の用途係数を 1.25 倍とするなど、震災救援所として十分な耐震性のある建物として整備します。
	消防水利の確保のため、防火水槽やプールの水を活用できるよう整備してほしい。	防火水槽等プールの水（約 280 t）は消防水利として活用できる計画とします。
	延焼を和らげるような植栽整備をしてほしい。	シラカシなどの防火に配慮した樹木を植樹する計画としています。
② 「消防団連携・日常訓練	消防団や地域住民が使用する器具等を備蓄するための「地域防災倉庫」設置により、スタンドパイプ・消火ポンプ等の備品が置かれ、夜間や休日の発災を想定し、道路に面した箇所に設置してほしい。	道路から直接出入できる場所に防災倉庫やポンプ格納庫を整備します。
	円滑な防災活動のため、緊急車両と人の出入り口を分けて計画してほしい。	緊急車両が校庭に直接入れる車両出入口を整備します。

	ご要望	検討内容
	校庭は、避難場所としての活用や防災活動が行いやすい材質としてほしい。	校庭は、人工芝を計画しており、柔らかく水はけがよく震災時にも有用と考えています。また、かまどベンチの設置など、震災訓練等にも配慮した計画としています。
③杉並区地域防災計画に定める「震災救援所」として円滑に機能できるように機能確保	災害時の水源の確保（事例：蚕糸の森公園に設置）	正門付近に応急給水栓を整備します。
	防災備蓄倉庫の設置	約 100 m ² の防災倉庫を整備します。
	非常時使用可能な電源の確保	非常用発電設備（50～75kVA）と、屋上に太陽光発電設備（30kW 以上）を整備します。
	マンホールトイレおよび防災井戸の設置	マンホールトイレ 10 基と防災井戸を整備します。
	屋外排水設備の耐震化	屋外排水設備については、耐震フレキシブルジョイント整備を検討しています。
④非常時には、学校と総合病院と A 街区施設、また阿佐谷地域区民センターとが、連携して非常事態に対処できるように、有効な活動がどうあるべきか検討を重ね協定を交わすなど、施設間が連携した動きが可能なよう、共に検討してください。		災害発生時には、阿佐谷地域区民センターに救援隊本体を設置し、震災救援所と密に連携を図りながら対応します。また、河北総合病院とは緊急医療救護所としての協定を締結しており、定期的に区と合同の訓練も実施しています。引き続き、より円滑な医療救護体制の構築に向け、連携の強化について検討します。
⑤防災公園でもある、馬橋公園と馬橋小学校との非常時の活動の連携のあり方の検討。		馬橋公園内に災害備蓄倉庫、マンホールトイレおよび防災井戸などを整備しています。災害発生時における円滑かつ効果的な運用を図るため、救援隊本体が中心となり、馬橋小学校を含めた近隣の震災救援所や馬橋公園と相互に協力・補完し合える体制をとっています。

ご要望	検討内容
2. 「歴史と文化が調和したみどり豊かなまち」の実現に向けて	
①沿道緑化について	<p>区画道路1号線沿いでは、中杉通りとの緑のネットワークに配慮したいと考えています。中杉通りに近いA街区では、樺の高木を植樹し、東側にいくに従いシラカシも混植し、武蔵野の屋敷林の面影を沿道に作り出したいと考えていますので、そのような高木による植栽計画をお考えください。</p> <p>区画道路3号線沿いは、柔らかな曲線道路に沿って、病院側は花の咲く樹木などの植栽を予定しています、学校側においても花の咲く、楽しさを感じるような植栽を考えていただくようお願いいたします。</p> <p>区画道路4号線・5号線の沿道緑化については、周辺街区からの火災に対して、延焼しにくい樹木を選定してください。</p>
②屋上緑化等について	<p>緑化による蒸散作用や遮熱作用により、地域として温暖化対策を図りたいため、屋上の緑化を可能な限り行ってください。</p> <p>設備置場や屋上プールとして利用する範囲以外は、可能な限り屋上緑化を整備します。</p>
③緑地について	<p>B街区の緑地1については、樹木の根や土への影響を考慮し、常時の人の立ち入りが難しいため、例えば杉並第一小学校の児童の学習に供することなどを検討していますので、児童の自然環境の学習などに活用を考えてください。</p> <p>検討いたします。学校での使用に当たっては、子どもたちに怪我や虫刺され等の被害が生じないように、除草や害虫駆除等の管理が必要であることや、カリキュラムに追加できるかが課題と考えています。</p>
④外構などの統一した整備計画	<p>地域でのまとまりある景観の形成のため、歩道状空地の舗装や側溝・縁石のつくり方を他の街区と同様な仕様としてください。</p> <p>歩道状空地舗装、側溝・縁石のつくり方は、先行するB街区と同様とします。</p>

ご要望	検討内容
歩道状空地などは、児童の通学や病院への通院に用いることから、バリアフリーやユニバーサルデザインについて配慮してください。	段差がなく幅の広い歩きやすい歩道を整備します。安全性に配慮し、道路と歩道の上にチェーンボラード等を整備する計画としています。
区画道路5号線沿いは、歩道状空地の設置が地区計画決定当時の諸事情で定められていませんが、歩行者の安全確保等の観点から、歩道状空地の整備を希望します。歩いて楽しくなるような明るい植樹、植栽も併せてお願いします。	区画道路5号線沿いにも歩道状空地と沿道緑地を整備します。
3. 「にぎわいや利便性が高まり、来街者が集う街」の実現に向けて	
①誰もが歩きやすくなるような環境整備	正門・入口がどこに設置されるかにもよりますが、校門前に小さな広場があり、休憩できる簡単なベンチなどがある木蔭の設置を望みます。小さな広場により、生徒の出入り時の安全確保にも繋がると考えます。
	校門前に「まちかど広場」を設け、地域の方も利用できるベンチを整備する計画としています。
②阿佐谷ジャズストリートは阿佐谷のまち全体を会場にして約30年続くイベントです。当地区内には、大きなコンサート会場がないことや、杉並第一小学校はブラズバンドの活動も有名であることから、体育館でのイベントの想定や、運動場とも一体となって使える設えなどの考慮を希望します。	杉一小では、郷土資料を調査・研究されている方が協力・支援を行ってくださっていますので、ご紹介いたします。
③歴史と伝統ある阿佐谷七夕祭りにおいて、飾り等に使用する竹林の植栽を希望します。また、あわせて学校に飾りつけもできるように考慮をお願いします。	体育館は従前より広く、イベントでの利用も可能です。限られた敷地の中で校庭面積を確保するため、新校舎の体育館は2階に配置していることから、校庭との一体利用は困難ですが、北西角に設けた半屋外空間の「まちかど広場」は、地域イベント等での活用を想定して計画しています。
	地区計画を満たす植栽整備が必要なため、竹林整備は難しいと考えています。



ご要望		検討内容
4. そのほか（環境への配慮）		
①ZEB 化も含めたエコスクールの推進	杉並区地球温暖化対策実行計画に基づく ZEB 化等の取組を検討してください。	ZEB Ready を目指した計画としています。
	蒸散作用により、気温を下げるような植栽計画・屋上緑化・壁面緑化などを設置してください。	敷地外周の緑地及び屋上緑化による蒸散作用により気温を下げる計画としています。
②校舎の内装木質化	樺屋敷内にあった樹木（木材）について福島県会津に貯木し、寄贈の予定があるため、それらを使い、地産地消と環境教育の推進、児童の心身健全にも効果的な校舎の内装木質化を行ってください。	家具やサインに樺屋敷の樹木を活用する計画とします。今後、木材の実施調査等を踏まえ、具体的な活用場所等を実施設計の中で検討していきます。

以上となります。今後とも、杉並区の教育行政に御理解、御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。

〔担当〕

学校整備課教育施設計画推進担当係長 岡本（内線 1698）

防災課 防災担当係長 岡本（内線 3605）

杉並区役所代表電話：03-3312-2111

ASAGAYA

NORTH-EAST AREA

FUTURE VISION BOOK

阿佐谷北東エリアまちづくり未来ビジョン

目次

P.01……将来像

P.03……未来ビジョン全体像

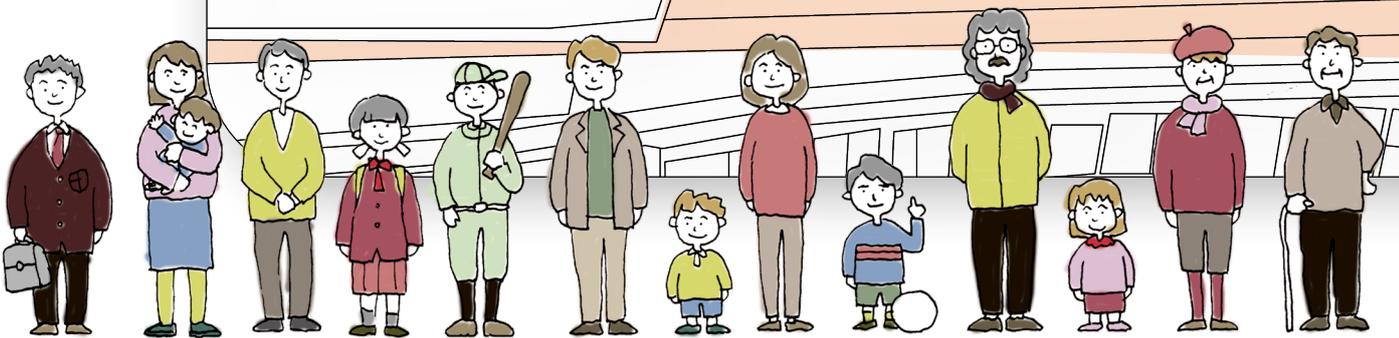
P.05……取組の柱

P.11……阿佐谷北東エリアまちづくり

P.13……ロードマップ



心豊かに暮らせる、



将来像



にぎわいのある魅力的なまち

※敷地①と敷地②の土地利用は未定

未来ビジョン全体像

未来ビジョンは、阿佐谷北東エリアに関わる私たちが、「こんなまちにしたい」という思いを描いたもので、みんなで未来をつくっていくための道しるべとなるものです。

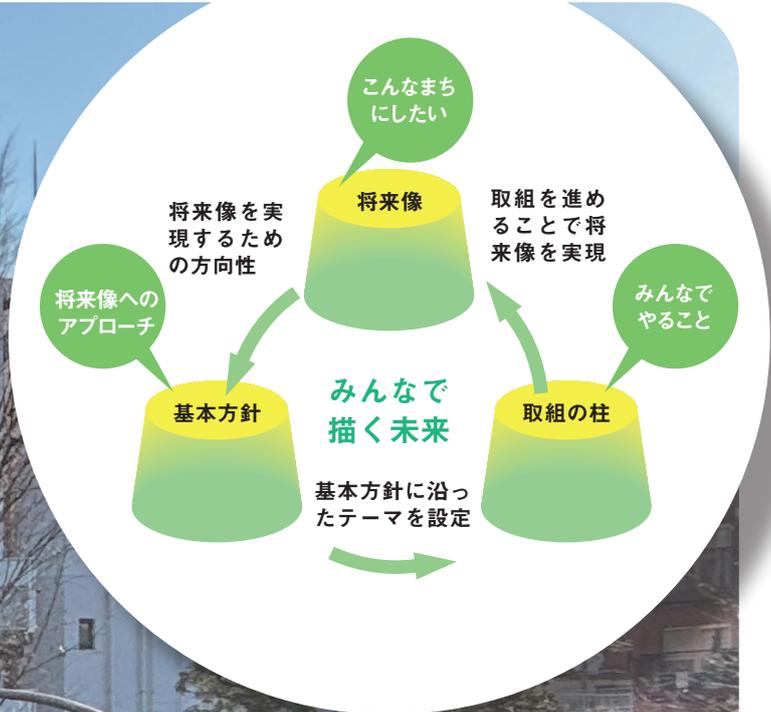
そこで掲げた将来像を実現するために、このビジョンに共感する方々とつながり、力を合わせながら、より魅力的なエリアへと育てていきたいと考えています。

将来像①心豊かに暮らせる、にぎわいのある魅力的なまち

1

2

3



3つの基本方針

6つの取組の柱

災害に強い
安全・安心
なまち

みどり豊かな
阿佐谷の歴史
と文化が調和
したまち

やすらぎの
ある人々が
集うまち

1 防災

災害に強い防災活動拠点をつくる

P.5

2 安全・安心

だれもが安全・安心に過ごせるまちをつくる

P.6

3 歴史・文化

地域の特性を活かした歴史が感じられるまちをつくる

P.7

4 みどりと環境づくり

豊かなみどりを守り育み持続可能なまちをつくる

P.8

5 ウォーカブル

快適でやさしさのある歩いて楽しいまちをつくる

P.9

6 にぎわい

人々が交わりくつろぎにぎわう空間をつくる

P.10

防災

エリアの特色と課題

- ① 周辺には木造住宅が多く、道路幅も狭いため、地震発生時の都市大火を防ぐには、エリアの**防災機能の強化**が求められる
- ② 災害発生時の一時避難地である馬橋公園へ通じる避難路（杉一馬橋公園通り）の幅員が狭い（約4.5m～6m）ため、**災害時の消防活動や避難が困難**になる恐れがある
- ③ 大雨時に**浸水が予想される区域**がある
- ④ **中杉通りは緊急輸送道路**（災害時に緊急車両の通行を確保すべき道路）であるが、沿道には旧耐震基準で建てられた建築物、老朽化した横断歩道橋、パーキングメータ等による路上駐車などがある

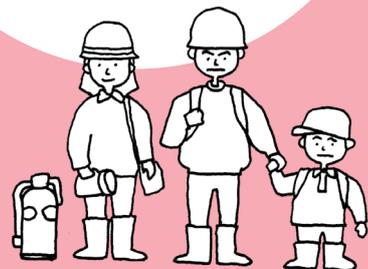
災害に強い防災活動拠点をつくる

1

地震による都市大火への対策として、防災活動の拠点を形成し、エリア全体の連携を強化することで防災機能を向上させる

→ 杉並第一小学校（震災救護所）や病院（東京都災害拠点連携病院）とエリア内の民間施設などが連携する協議の場を設ける

など



2

防災情報を地域で共有する手法や自助共助による防災活動を展開する

→ 当エリアを含めた周辺地区と馬橋公園（災害時一時避難地）との関係を考慮した地区防災計画の策定を検討

→ 地区町会連合会主催の防災訓練との連携

→ 初期消火対策の検討（例：スタンドパイプ設置と訓練、防災マップなど）

→ 防災に関する勉強会の開催

など



▲防災訓練（杉並第一小学校）

4

災害時に、避難・救助・物資の輸送など円滑に行えるように、緊急輸送道路の安全性を確保する

→ 中杉通りにおける安全対策の検討

など

3

ハザードマップの浸水予想区域における具体的な水害対策を進める

→ 浸水対策を広域的に検討

→ 貯留槽などの設置を検討
基準値以上の

→ 雨水流出抑制対策の検討

など

2

6つの取組の柱

安全・安心

エリアの特色と課題

- ① 中杉通りの歩道では、歩行者と自転車の錯綜が課題となっているほか、エリア内の道路整備・拡幅が進むことにより、路上駐車や路上駐輪など新たな課題が発生する恐れがある
- ② 小学校の児童や病院の利用者が安心して歩ける歩行環境の整備が求められており、特に新進会商店街通りの東端交差点は、歩行者や自転車、車が混在しやすく安全対策が喫緊の課題である
- ③ 歩道状空地の各所有者が各々整備するのではなく、エリア全体で整備方針や共通ルールを設け、統一的な整備が必要である
- ④ 夜間の商店街や人通りが少ないエリアなど照明が不十分で、人目の届かない場所には防犯面での対策が必要である



▲自転車侵入防止柵設置による事故防止
(新進会商店街通り東側交差点)

だれもが安全・安心に過ごせるまちをつくる

1

歩行者や自転車利用者の安全性を確保し、安心して利用できる交通環境の整備に向けた取組を進める

- 中杉通りのパーキングメーター代替駐車場の検討
- 杉並区自転車活用推進計画の自転車ネットワーク路線に準ずる整備の検討
- 路上駐車や路上駐輪の対策の検討
- 歩行者安全対策の検討
など

2

通学する児童や病院の利用者など誰もが、安心・安全に通行できる交通環境を整備する

- 当エリア内の車の速度は徐行とするための取組検討する
- 新進会商店街の東端交差点の安全対策の検討（例：交通量の実態調査等）

など

3

エリア内の歩道状空地など整備のあり方や管理に関する共通ルールを検討し、安全性の向上を図る

- 歩道状空地などの舗装デザインの検討
- 維持管理・修繕方法の検討

など

4

みんなが安全・安心に暮らせるように防犯面の取組を行う

- まちの防犯診断と対策の検討（例：夜間の照明、防犯カメラ設置、公園の見守りなど）
- 環境美化を通じた防犯対策の検討（例：ポイ捨ての抑制など）

など



取組の方向性

取組(案)

3 歴史・文化



▲古道沿いの築地塀

エリアの特色と課題

- ① 行政機関等が集約した南阿佐ヶ谷駅周辺に対し、当エリアは、社寺地、病院、学校など生活文化施設が多い。これらの**エリア特性を活かし、魅力をさらに高める**ことが求められている
- ② 150周年を迎えた杉並第一小学校や発掘された埋蔵文化財、古道の存在、駅至近に多く残されたみどりなど、**地域の歴史や文化を周知し、次世代に継承していく**ことが必要である
- ③ エリア外からの訪問者に対しても地域の歴史や文化に関して**積極的に情報発信し、知る機会を充実**させることが必要である

地域の特性を活かした歴史が感じられるまちをつくる



1

エリアの特性を活かし、古道を歴史が感じられる空間とし整備することで、エリアの魅力を向上させる

- 区画道路2号、8号の整備方針を検討（例：舗装やマンホール、街路灯のデザインなど）
- 古道など周辺環境の景観に調和する周辺環境等のデザイン誘導

など

2

地域に対する愛着をより深めるために、地域の歴史や文化を次世代に伝える場づくりを推進する

- 展示内容の企画（例：エリア内の敷地から出土した埋蔵文化財、中杉通り開通の歴史など）
- 展示場所の検討
- 資料等のアーカイブ化
- 写真展などの開催と資料収集

など

3

歴史散歩を通じて、楽しみながらエリアの魅力を再発見、共有する機会を創出する

- 歴史情報に触れられる2次元コードなどの設置
- 地図や冊子の作成（例：お散歩マップなど）

など

取組の方向性

取組(案)

4 みどりと環境づくり

エリアの特色と課題

- ① 中杉通りのけやき並木や社寺地等のみどりを活かしたみどりのネットワーク化を進め、駅前でありながら快適で潤いのある環境の向上が求められている
- ② 屋敷林の面影を残す緑地1の地域への開放やポケットパークの設置など、みどりの適切な保全や維持管理、活用方法を検討し、地域で共有する必要がある
- ③ グリーンインフラの推進により、公共空間・公共的空間に自然を取り入れ、みどりと調和した持続可能で魅力ある地域づくりを進めることが求められている



豊かなみどりを守り育み持続可能なまちをつくる

1

みどりのネットワークを広げ、夏の暑さを緩和するクールスポットを増やし、快適で良好な生活環境を創出する

- 緑地の保全や沿道緑化の推進
- 屋上や壁面の緑化
- 屋敷林をはじめ、みどりに関する勉強会や情報提供

など

2

緑化の方針を策定し、地域の方々と協力し維持管理を行い、地域に愛されるみどりを育む

- エリアの緑化の方針について検討
- 維持管理の組織化
- 資金の募金
- イベントの開催

など

3

道路や歩道状空地、沿道緑地などの公共的空間にグリーンインフラを導入し、自然と共生する

- 雨庭の整備を検討
- 保水性や透水性などを備えた舗装の導入を検討
- 沿道緑地には高木に加えて低木を植栽

など



▲屋敷林の面影を残す緑地1

取組の方向性

取組(案)

5 ウォーカブル

エリアの特色と課題

- ① 歩行者が安全かつ快適に移動できるように、歩道環境の整備を進めるとともに、エリアの魅力を感じられるまち全体の美観を維持向上させる工夫が必要である
- ② 公共空間・公共的空間において、それぞれの通りの特性を活かした魅力的な空間のあり方を検討し、歩いて楽しいまちとするとともに、私有地における利用マナーの普及を図る必要がある
- ③ 高齢者や障がい者、子育て世代など誰もが安全かつ快適に歩けるまちづくりを進めるため、ユニバーサルデザインに基づくサイン計画を導入するなど、直感的に情報を得られる環境の整備が求められている
- ④ 子どもが安全に遊べる場所や地域住民の交流・つながりを促進する地域のコミュニティを活性化する居場所の創出が求められている



▲歩道状空地（河北総合病院）



快適でやさしさのある歩いて楽しいまちをつくる

2

通りごとに特色があり、歩いて楽しい魅力的な空間づくりの推進を図る

- 区画道路1～13号の空間イメージ（通りの愛称など）を検討し、その実現に向けた具体策を推進
- 車両の通行を抑え、商店街や古道を歩行者優先の道路とする検討

など

4

歩行者同士の自然な交流が生まれる居場所をつくり、互いに支えあい住みやすい環境を形成する

- 子どもの居場所づくり（例：夏は木陰となり、冬はひだまりとなるポケットパークの検討）
- 高齢者や病気、障害をもつ方も利用しやすい居場所づくり（例：道路沿いにベンチ等の休憩所を設置）
- ゴミ出しルールと置場の検討

など

1

交通環境や都市風景を整え、歩行者が安全・快適に移動できる空間を創出する

- 電柱の地中化に伴う、地上機器や交通標識の設置方法の検討
- 清掃活動
- 仮囲いのアートイベントなど



3

バリアフリー、ユニバーサルデザインを導入し、誰もが安心して歩ける、優しいまちを目指す

- バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりルールを検討
- 案内や情報をわかりやすく伝えるサインや看板などを検討

など

取組の方向性

取組(案)

6

6つの取組の柱

にぎわい

エリアの特色と課題

- ① 駅に近く人の往来が多い当エリアにおいて、阿佐谷らしい文化的なにぎわいを育む地域活動の拠点として、人々が集い交流できるイベント等を展開していくことが必要である
- ② 人々が自然に集い、買い物や病院を訪れる人々にとっても居心地の良い滞留空間を創出することが求められている
- ③ 商店街や鉄道事業者等と連携し、エリアのにぎわいや回遊性向上を図ることが求められている
- ④ 歴史と伝統のある阿佐谷の行事と連携し、エリアの魅力をより広く発信することが求められている



人々が交わりくつろぎにぎわう空間をつくる

1

地域活動の拠点として、小学校跡地や既存施設を活用し、阿佐谷らしい文化的なにぎわいの創出を図る

- みどりや古道を活かしたイベントの企画
- 阿佐谷らしいエンタテイメントによる、にぎわいの拠点づくり

など

2

エリア全体に多様な滞留空間を設け、くつろぎにぎわいが調和する空間を創出する

- ベンチや小さな休憩スペース、キッチンカーなど多様な規模やスタイルの滞留空間を設置
- 滞留空間にみどりの景観を取り入れる方法を検討

など

3

商店街とその周辺の利便性や回遊性の向上を図り、みんなが楽しめる柔軟なまちづくりを実現する

- 楽しく回遊できる魅力的なお店や通りの演出などの検討
- 商店街や周辺の回遊性向上につながる検討
(例：社会実験等の実施など)

など

4

エリア内の伝統行事に加え、阿佐谷の既存イベントとも連携・協働し、地域の魅力を発信する

- 地域の文化的行事をエリア内に広く展開する方法の検討
- 地域の既存イベントへの参加や独自のイベントの検討

など

取組の方向性

取組(案)



▲神明宮の例大祭

阿佐谷北東エリアまちづくり

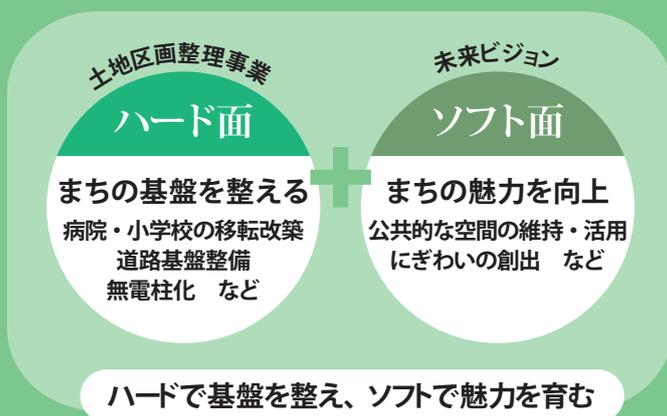
阿佐谷北東エリアは、阿佐ヶ谷駅至近に住宅地や商店街、医療機関が集まる生活圏であるとともに、小学校や神社仏閣などの文化的施設が点在する、暮らしと地域活動が密接に関わるエリアです。

現在、このエリアでは、地区計画に加えて、病院や小学校の移転改築、道路基盤整備など、ハード面の事業（土地区画整理事業）が進行しています。

新たな敷地や公共的な空間が生まれる一方で、まちの魅力をさらに高めるためには、そうした空間を大切に使用

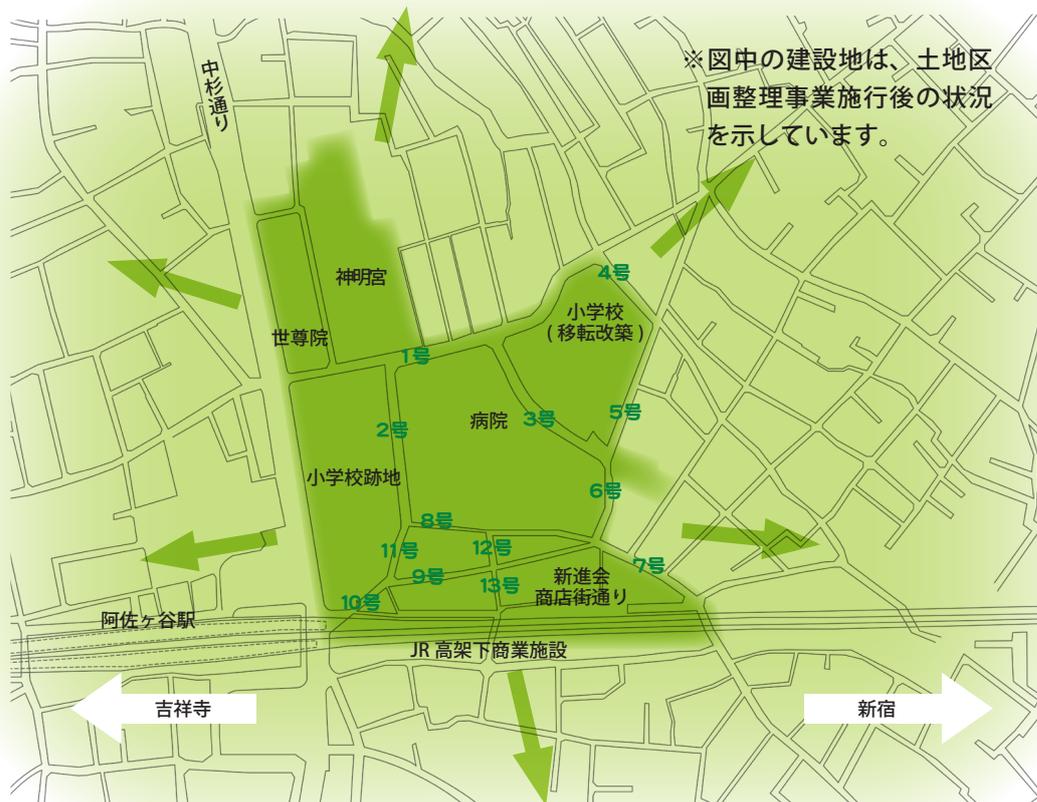
い、活かしていく取組や、にぎわいを生み出すソフト面の活動を、地域の皆様が主体となって進めていくことが重要です。行政は、その取組が円滑に進むよう、関係組織と連携しながら、制度の活用など必要な支援を行っていきます。

このように阿佐谷北東エリアでは、地域の皆様の主体的な活動を、行政が必要に応じて支え、共に進める公民連携によるまちづくりを進めています。未来ビジョンは、こうした地域主体で進めるソフト面の取組をまとめたものです。



未来ビジョン対象エリア

事業の進捗に合わせて隣接するエリアと連携しながら展開し、対象エリアも順次拡大しながら、地域全体の発展を図っていきます。



(○号：区画道路の番号を示す)

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

阿佐谷北東エリアまちづくり協議会（エリアプラットフォーム）とは、このエリアに関わる多様な主体が連携し、エリアの将来を共に考え活動していくために、協議・調整を行うための場です。

阿佐谷北東エリアでは、「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」を立ち上げ、この未来ビジョンを作成しました。

会員の所属

- 阿佐谷北一丁目町会
- 阿佐谷新進会商店街振興組合
- 樺興産株式会社
- 株式会社三杉
- 宗教法人 神明宮
- 宗教法人 世尊院
- 社会医療法人 河北医療財団
- 株式会社 ジェイアール東日本都市開発
- 株式会社 計画工房
- 株式会社 双葉
- 杉並区

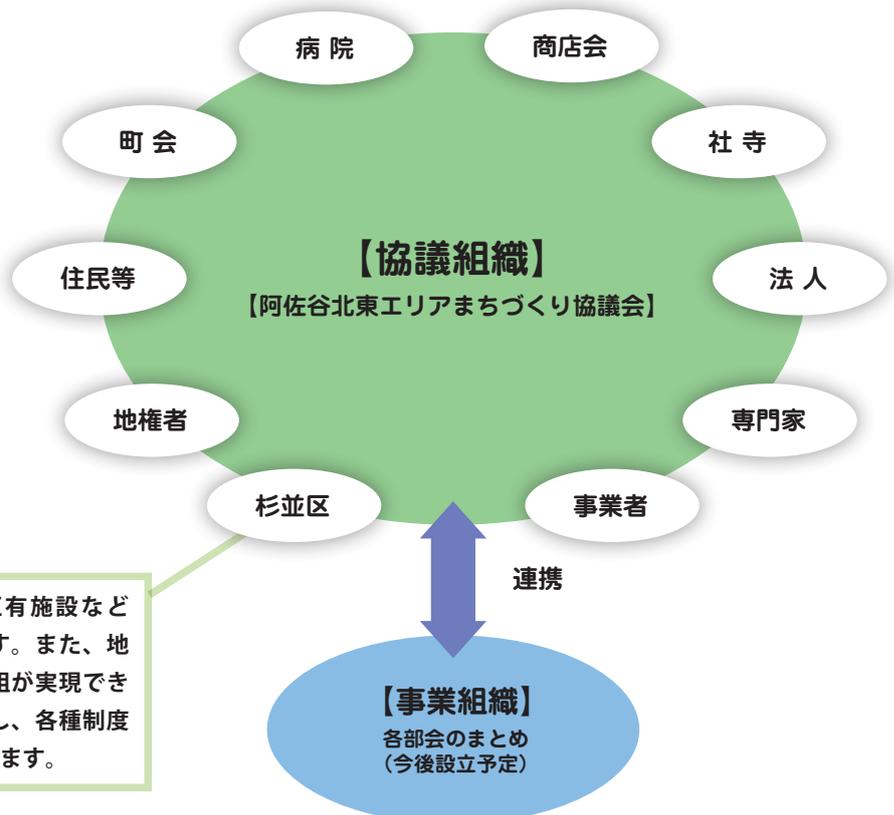
未来ビジョン作成までの経緯とこれまでの取組

2021.10月	エリアプラットフォーム準備会 発足 (阿佐ヶ谷駅北東地区エリアマネジメント推進懇談会)
2021.10～ 2023.3月	準備会 会議開催 計7回
2021.11月	まち歩き～まちを知ろう、阿佐谷の歴史と古道について
2022.3月	古道ワークショップ～歩行者中心の緑豊かな道づくりについて意見交換
2023.2月	写真展 第1回開催
2023.3月	防災についての意見交換会
2023.8月	仮囲いアート「木と石ころ」
2023.11月	写真展 第2回開催
2024.10月	業者選定プロポーザル（未来ビジョン策定業務委託）
2025.2月	「阿佐谷北東エリアまちづくり協議会」 発足
2025.2～ 2026.3月	協議会 会議開催 計9回
2025.5月	未来ビジョンの骨子案についてワークショップ (あさがやまちづくりセッション第6回)
2025.11月	未来ビジョンの取組のアイデアについてワークショップ (あさがやまちづくりセッション第9回)
2025.11～ 12月	未来ビジョンの取組のアイデアについて意見募集 (すぎなみボイス)
2026.2月	未来ビジョンの素案について意見募集 (あさがやまちづくりセッション第10回・すぎなみボイス)
2026.3月	未来ビジョン完成

組織体制

- ・協議会は対象エリアの拡大に合わせて活動の輪を広げるとともに、具体的な取組を進めるための実行組織を立ち上げ、各取組を実施する部会を設けていく予定です。
- ・将来的には、協議会と実行組織が連携し、両輪となってまちづくりを進めることで、自立・自走できる持続可能なまちづくりを目指します。

杉並区は、エリア内の区有施設などハード面の事業を担います。また、地域で進めるソフト面の取組が実現できるよう、関係組織と連携し、各種制度の活用をサポートしていきます。



A ハード整備への提案

ハード整備の進捗に合わせて、本エリアのまちづくりの方向性について検討し、段階的に提案をしていきます



ハード整備の進捗に合わせて段階的に提案

- | | | | |
|--|--|---|--------------------|
| <p>●エリア全体の整備概要
(歩道状空地の舗装性能、維持管理運営の方針、植栽方針)</p> <p>●防災対策 など</p> | <p>提案#1</p> <p>●舗装デザインや安全対策</p> <p>●通りごとの空間イメージ</p> <p>●緑化の維持管理</p> <p>●ポケットパークの活用 など</p> | <p>提案#2</p> <p>●街路灯のデザイン</p> <p>●無電柱化に伴う電柱の代替となる地上機器 (トランスボックス) の設置方法 など</p> | <p>提案#3</p> |
|--|--|---|--------------------|

B 取組の柱ごとの活動イメージ

【短中期での取組を検討】

ハード整備への提案後、取組の柱ごとに連携しながらタイミングを図り具体化を検討していきます

<p>柱1 防災</p>	<p>〔提案#1 防災対策検討後〕</p> <p>防災協議組織形成 → 防災活動拠点づくり → 地区防災計画等の</p>
<p>柱2 安全・安心</p>	<p>〔提案#1 歩道状空地の舗装性能等検討後〕</p> <p>歩道状空地利用等ルールの検討 → 警察・消防との協定 → 利用</p>
<p>柱3 歴史・文化</p>	<p>写真展等開催 → 地域の歴史調査</p> <p>地域の歴史を次世代に伝える場づくり</p>
<p>柱4 みどり・環境</p>	<p>緑化方針の検討 → 緑地の活用の検討 →</p> <p>森の妖精 「森の妖精」をテーマにしたデザインを公募し、制作した作品を緑地に展示して、森の魅力を楽しんでもらうイベント。工夫や改良を重ね、地域ならではの恒例イベントとして育てていく。</p>
<p>柱5 ウォーカブル</p>	<p>〔提案#2 通りごとの空間イメージ検討後〕</p> <p>特徴のある通りの検討 (通りの名称など) → 古道などの整備の検討</p>
<p>柱6 にぎわい</p>	<p>みどりや古道を活かしたイベントの企画 → 阿佐谷らしい</p>

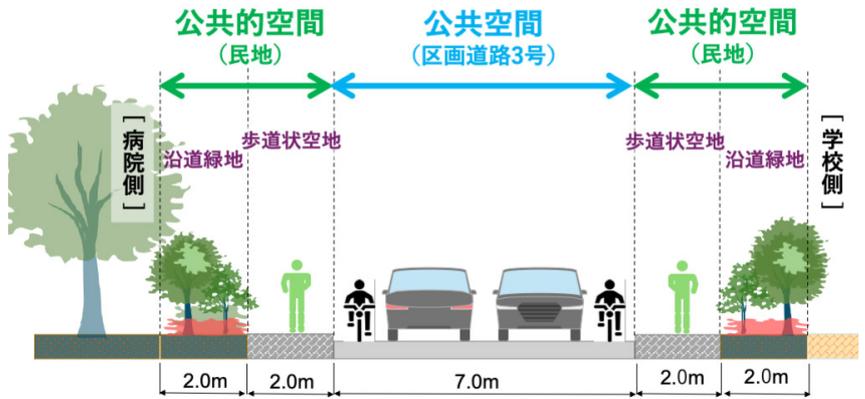
※参考として、これまでの活動事例の写真を掲載しています

(ハード面) の特徴：地区計画が施行されている・土地区画整理事業が順次進行している

【区画道路沿道の歩道状空地と沿道緑地のイメージ】



区画道路3号と沿道の考え方 (断面図)



検討



課題を共有する
ワークショップ

→ 地域意見聴取・防災訓練 → 地区防災計画等計画の見直し・修正

者への周知活動・清掃等維持管理 → 歩行者安全対策の検討・路上駐車や路上駐輪の対策の検討

→ お散歩マップ・二次元コードの設置 → 歴史展示場検討 → 展示場所の確保・企画・運営

提案#2
緑化の維持管理検討後
維持管理の組織の検討

地域のみどり環境の勉強会



→ 古道環境を話し合う
ワークショップ



都市風景を整える
仮囲いアートイベント

ポケットパークの検討

エンタテイメント活動の検討 → 既存イベントの盛り上げ

地元のイベントを盛り上げる



MEMO

阿佐谷北東エリアまちづくり未来ビジョン

(2026年3月発行)

発行：阿佐谷北東エリアまちづくり協議会

制作：株式会社計画工房（デザイン 森 一典）

（お問い合わせ）

杉並区都市整備部 市街地整備課 拠点整備担当

03-3312-2111